研究成果報告書 科学研究費助成事業

今和 5 年 6 月 1 2 日現在

機関番号: 22604

研究種目: 基盤研究(C)(一般)

研究期間: 2018~2022 課題番号: 18K02544

研究課題名(和文)生徒参加による主権者教育に関する日米仏独の比較研究

研究課題名(英文)Comparative Study on Sovereignty Education with Student Participation in Japan, U.S.A.,France and Germany

研究代表者

宮下 与兵衛(MIYASHITA, Yohee)

東京都立大学・大学教育センター・特任教授

研究者番号:50714804

交付決定額(研究期間全体):(直接経費) 3,400,000円

研究成果の概要(和文):日本では2015年の18歳選挙権実施に伴って、文部科学省が主権者教育についての通知を出して公民科を中心に実施されてきた。しかし、20歳代の選挙の投票率も社会参加も低迷している。対照的に選挙の投票率が高く、気候変動対策などの社会問題に積極的に参加している諸外国の若者の行動を支えている教育について調査・研究してきた。その結果、学校づくりや地域づくりへの参加体験の教育でシティズンシップを向上させていることを明らかにした。この研究での影響を表現しているにはあることを明らかになった日本の主権者教育に欠けている「生徒参加による主権者教育」について提言をまと

め、学会での発表、本の出版を行った。

研究成果の学術的意義や社会的意義 学術的意義は、4カ国の生徒参加による主権者教育実践の現地調査から、日本の主権者教育で不足している学校 運営や地域課題解決への生徒参加の必要性について研究して明らかにした。社会的意義は、その研究成果に基づ き日本の主権者教育に生徒参加を取り入れることを教育現場と教育行政に提言できた。生徒参加については今年 スタートした「こども基本法」と「改定・生徒指導提要」で推奨されており、提言は学校教育で活用できるもの である。現場に研修や実践に活用できるよう。世界に学ぶ主権者教育 』という本に研究成果をまとめて出版し社会還元することができた。

研究成果の概要(英文): In Japan, with the implementation of the right to vote for 18-year-olds in 2015, the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology issued a notice on sovereignty education, which has been implemented mainly in civics courses. However, both election turnout and social participation among those in their 20s have been stagnant. In contrast, we have investigated and researched the education that supports the behavior of young people in other countries, where election voter turnout is high and they actively participate in social issues such as climate change measures. As a result, we found that citizenship is improved through education of participatory experiences in school building and community building.

We have compiled recommendation on "sovereignty education through student participation," which is lacking in Japanese sovereignty education as revealed by this research, and have presented them at academic conferences and published a book on the subject.

研究分野: 学校経営・主権者教育・特別活動

生徒参加 開かれた学校 子どもの意見表明権 民主主義教育 民主的学校経営 校則改 キーワード: 主権者教育

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等に ついては、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

1. 研究開始当初の背景

- (1) 18 歳選挙権開始に伴い、文部科学省(以後、文科省)は2015年に主権者教育についての通知を高等学校に出し、以後、文科省の調査では毎年全国の90%を超える高校で主権者教育が実施されている。しかし、その主権者教育を受けた若者の20歳代での選挙の投票率は30%前半で、主権者教育開始以前の若者の投票率から向上していない。
- (2)日本の学校での主権者教育は社会科・公民科で中心的に行われている。日本の主権者教育に当たる欧米の教育はシティズンシップ教育や民主主義教育に該当するが、それらの教育では社会科・公民科での知識による教育とともに学校づくりや地域づくりへの参加体験によるものである。日本の若者の選挙参加や社会問題解決への参加が低迷しているのと比較して欧米の若者は選挙の投票率は倍以上で、また気候変動防止運動など社会問題解決への参加が大変高い。

2. 研究の目的

- (1) 1.の背景から、日本における主権者教育の問題点と課題を考えると、欧米の主権者教育の研究の必要性が出てくる。日本の主権者教育に欠けている生徒の参加体験による欧米の主権者教育について現地調査を行い、それが主権者意識の向上の要因になっているか明らかにする。
- (2)欧米の生徒の参加体験による主権者教育がどう制度化され、どのように教育行政に位置づけられ、どのように実践されているか現地調査して明らかにする。それらが日本の主権者教育にどう生かしていけるか明らかにし、日本の主権者教育への提言を行う。

3. 研究の方法

- (1)研究対象国をアメリカ、フランス、ドイツ、さらにニュージーランドを加えて4カ国とし、 現地で学校調査を行い、学校運営(アメリカは地域活動も)への生徒参加の 概念と制度、 取り 組みの背景、 取り組みの理念、 児童・生徒の活動の場、 活動の範囲、 活動の方法、 取り組みの関係者、等の視点で比較検討する。
- (2)日本における生徒参加による主権者教育の実践事例を調査して主権者教育としての効果を分析する。欧米の参加体験による主権者教育を日本に取り入れて効果があるのか研究する。そのうえで日本の主権者教育の問題点と課題を明らかにして、日本の主権者教育への提言をまとめる。

4. 研究成果

この科研メンバーでの共同調査は新型コロナの感染拡大によりアメリカ・シカゴでの4校の学校調査のみとなり、各国の調査はそれぞれの国の教育を研究している研究者が行い、各国の実態を分析した。それを一覧にまとめたものが次ページの表「各国における生徒参加による主権者教育に相当する取り組みの比較」である。各国の実態分析からの日本の主権者教育への提言を各研究者が行い、それをまとめたものが「(2)各国の児童・生徒の参加による主権者教育の研究からの日本の主権者教育への提言」である。

(1) 各国における生徒参加による主権者教育に相当する取り組みの比較

表 各国における生徒参加による主権者教育に相当する取り組みの比較

	アメリカ	フランス	ドイツ	ニュージー ランド	日本
概 1.	公民教育/市 民性教育	市民性教育	民主主義教育	学校自治と その協同	主権者教育
の背景 2、取り組み	民主主義の伝統と危機(若年層の参加の低下や社会的分断など)	値の共有」が	民主主義の危機(極右主義、 外国人敵視、 政治嫌い、等)	行きすぎた新 自由主義的政 策に対する学 校間協同導入 の試み	入に伴う若者 の投票率等の
理念 3. 取り組みの	民主主義社会 に参加する市 民の育成	市民の育成	民主主義的行動能力の獲得	学校を基礎と した経営(1989 年法)から学校 自 治 塩 同 (2020年 法) への転換	
4. 児童・生徒の活動の場	公民科・社会 科を中心に学 校全体	学級評議会 学校管理評議 会 高校生活評議 会 大学区高校生 活評議会 全国高校生活 評議会	学校教育全体 ・教科学 (各教科) ・プロジェクト学級議 ・学校会議 ・地域校外) が成外教育に が成外を がいてもり を対して がいてもり	学校理事会 (中等学校の 生徒がいる場合)	
の活動の範囲	教科学習(公 民科・社会科 を科中心に) 教科外活動 (生徒会活動、 地域活動等)	教科学習(道 徳・市民を中 心に)教科外 活動(学内選 挙、クラブ活 動など)		人事・予算・ カリキュラム などの学校管 理運営に、生 徒代表理事と して参加	会科・公民
の活動の方法	学校の問題解 決への生徒参加 地域・社会の 問題解決への 生徒参加	学校内の選挙 に立候補、投票 各種の評議会 に参加	学校により多様、おもに生徒参加を主体 としたプロジェクト学習や 体験活動	れた理事は学	三者協議会や 校則検討委員 会のある学校 では校則や授 業などの改善 に参加できる
関係者	核となる実践 を担当する教 員を中心に全 教員	全教員 生徒指導専門 員 校長	全教員(社会 科の教員に限 らない)地域 住民その他の 関係機関等	保護者代表、 校長、教職員 代表、地域住 民代表、中等 学校以上の場 合は生徒代表	社会科・公民 科の教員 生徒会・部活 動などの担当 教員

(2) 各国の児童・生徒の参加による主権者教育の研究からの日本の主権者教育への提言 児童・生徒参加の法制化を見据えた参加実践の拡大

日本の主権者教育への提言の第一は、児童・生徒参加の法制化を見据えた参加実践の拡大である。 各国の生徒参加による主権者教育研究からの提言の中では、たとえば、フランスからの提言に生徒参 加制度の充実、権限の明確化が挙げられている。またニュージーランドからの提言にも生徒参加の法 定が挙げられている。同様に、ドイツからの提言にも学校における児童・生徒参加の実現が挙げられ ている。これらの提言から総じていえることは、学校教育に関する法律の中で生徒の権利が明確に規 定されていること、またそうした規程にもとづき生徒参加が法制化されていることが生徒の民主主義 的な能力形成にとって重要な意味を持っているということであった。生徒の権利が明確に規定され、 生徒参加が法制化されていることで、学校の中に民主主義的な体験を得る場が確保されることが何よ りも重要であるといえるからである。日本においても、民主主義的な能力形成を進めるためには児童・ 生徒参加の法制化を目指すことを提言する。すでに日本においても「子どもの権利条約」が批准され ており、同条約の中には子どもの意見表明権が規定されている。しかしながら、日本において同条約 が批准された際には、特段、新たな措置が採られることはなかった。その結果、学校において児童・ 生徒参加が拡大することはなく、意見表明権が行使されるケースも拡大したはいえない状況が続いて いる。こうした状況にある日本において、「子どもの権利条約」を踏まえた児童・生徒参加の法制化を 進めることは何よりも重要な目標であるといえる。しかしながら、仮に児童・生徒参加が何らかの形 で法制化されたとしても、児童・生徒参加の実態が存在しなければ、まったく意味をなさないことは 言うまでもない。たしかに日本においても児童・生徒参加の法制化を目指すべきではあるが、他方で は児童・生徒参加の法制化を見据えた参加実践の拡大が必要である。現実的に考えるならば、まずは 法制化を見据えつつ、さまざまな形で児童・生徒参加の実践を拡大していくことが求められるのでは ないか。これにより、児童・生徒参加の成果が共有され、その理念や意義が広く共有されることで、 法律が変わる真の必要性が生まれる。すでに日本においても 20 年以上前から実質的に参加実践を続 けている学校が存在する。こうした学校の実践事例から学びながら、数多くの学校で児童・生徒参加 の実践が進められていくことが重要である。他方では近年、さまざまな形で児童・生徒参加の実践が 拡大するための環境が整備されつつある。たとえば、2022年12月に改訂された『生徒指導提要 (改訂版)』では「校則の運用・見直し」において「児童生徒の参画」という項目が設けられた。この 中では、「校則の見直しの過程に児童生徒自身が参画することは、校則の意義を理解し、自ら校則を守 ろうとする意識の醸成につながります。また、校則を見直す際に児童生徒が主体的に参加することは、 学校のルールを無批判に受け入れるのではなく、自身がその根拠や影響を考え、身近な課題を自ら解 決するといった教育的意義を有するものとなります」と述べられ、児童・生徒参加が奨励されている。 こうした流れと関連して、すでに校則改正への児童・生徒参加に取り組む学校や自治体が出てきてい る。こうした流れの中で、さらなる参加実践の拡大が期待される。

学校全体で取り組む民主主義的な能力形成

日本への提言の第二は、学校全体で取り組む民主主義的な能力形成である。各国からの提言の中では、たとえば、アメリカからの提言に「授業づくり」から「学校づくり」へ、フランスからの提言に民主主義の習得の場としての学校、ドイツからの提言に民主主義的な学校文化の形成、早い時期からの段階的な能力形成が挙げられていた。これらの提言から総じていえることは、特定教科の学習によってではなく、あらゆる教科の学習によって、あるいは教科学習だけでなく、学校内のあらゆる活動によって民主主義的な能力形成がなされる必要があること、その際には学校全体が民主主義的な学校文化を有している必要があること、さらにはこうして取り組まれる能力形成は幼い時期から時間をかけて積み重ねていく必要があること、そのためには段階的な能力形成の構想が必要になること、である。

日本においても、社会科等の特定の教科で扱う内容であるといった認識で取り組むのではなく、広く民主主義的な能力形成に関わるという認識のもとで取り組む必要があるのではないか。主権者教育に関わる能力形成を狭く捉えてしまえば、地方議会選挙や国政選挙のための教育になってしまう。かりに投票率が高くても、民主主義社会を脅かすような政党が躍進した場合はどうなるのか。たとえばドイツでは、2021年9月のドイツ連邦議会選挙において国民全体の投票率は76・6%、18~20歳

の若者の投票率に限ってみても 70・5 %と比較的高い投票率であった。しかしながら同時に、外国人 排斥を掲げる極右政党が躍進していることが危惧されている。その背景には、「自由の敵に自由なし」 のスローガンに示されるように、「自由な民主主義的基本秩序」(freiheitliche demokratische Grundordnung)に反する政党を認めない、「戦う民主主義」(wehrhafte/streitbare Demokratie)の理 念がドイツの憲法にあたる基本法(Grundgesetz)に盛り込まれているためである。 言うまでもなく、 日本とドイツでは国家の基本法制が異なるとはいえ、こうしたドイツの状況を見ると、民主主義社会 にとって単に投票率が高いだけでは十分ではないことが分かる。たしかに投票率を高めることは重要 ではあるが、問題は、国民一人ひとりがどのような社会を作っていけばよいと考えているのかという 社会観であり、そのために政治に何を求めるのかという政治観である。まさに民主主義社会をどのよ うに築いていくのかという、相互理解、寛容、連帯、共存のあり様が問われている。学校教育の中で こうしたことに気づき、考えるための体験をどれだけ豊かに持つことができるかが問われている。い いかえれば、学校教育の中でいかに豊かな民主主義的な体験を持つことができるのかが問われている のであり、これは日本の児童・生徒にとってもきわめて重要な課題である。こうした意味合いから、 学校において児童・生徒にこうした体験を提供するために、学校自体が民主主義的な学校文化を有し た空間になること、また年齢に応じた体験を数多くの機会から得ることができるよう、段階的な能力 形成を構想することが求められる。

学校外での児童・生徒参加の促進とその支援

日本への提言の第三は、学校外での児童・生徒参加の促進とその支援である。各国からの提言の中で は、たとえば、アメリカからの提言に学校・地域全体で促進する仕組みと連携、「格差」を生まないた めの取り組み、フランスからの提言に学校外(大学区・全国単位)の生徒参加制度が挙げられていた。 これらの提言から総じて言えるのは、学校外においても学校での民主主義的な能力形成を促進し支援 するための取り組みが求められ、可能な限り緊密に学校と連携・協働することが求められるというこ とである。いいかえれば、実際に社会で生じている問題や課題を取り上げながら児童・生徒がその解 決に携わることによって、社会の現実を学びながら学校で得た知識や体験を活かして活動していくこ とができる環境を整える必要があるということである。もちろん、学校においても児童・生徒の身近 で生じている問題や課題を取り上げ、児童・生徒参加により、その解決に取り組むことはできる。し かし、こうして得た経験やそこで身に付けた力をさらに活かすために、また実社会で生じている問題 や課題に関心を向けるためにも、学校外での児童・生徒参加は不可欠であり、そのためには学校と連 携・協働する関係機関によって児童・生徒が豊かな民主主義的な体験を得るための支援が必要である。 この点についても現在、日本において少しずつ環境が整いつつある。たとえば、こども基本法の第 11条には「国及び地方公共団体は、こども施策を策定し、実施し、及び評価するに当たっては、当該 こども施策の対象となるこども又はこどもを養育する者その他の関係者の意見を反映させるために 必要な措置を講ずるものとする」との条文が盛り込まれ、こども施策に対するこども等の意見の反映 が行われることとなった。こうして地域において子どもの意見反映の機会が増えていくことで、実際 に社会で生じている子どもの問題や課題への関心がさらに高まることが期待される。また、こども家 庭庁設置法の第3条第1項には「こども家庭庁は、心身の発達の過程にある者(以下「こども」とい う。)が自立した個人としてひとしく健やかに成長することのできる社会の実現に向け、子育てにお ける家庭の役割の重要性を踏まえつつ、こどもの年齢及び発達の程度に応じ、その意見を尊重し、そ の最善の利益を優先して考慮することを基本とし、こども及びこどものある家庭の福祉の増進及び保 健の向上その他のこどもの健やかな成長及びこどものある家庭における子育てに対する支援並びに こどもの権利利益の擁護に関する事務を行うことを任務とする」との文言が盛り込まれており、子ど もの意見の尊重に向けて、こうした形でも環境が整えられつつある。

以上、これら3つの提言をとおして、日本の児童・生徒が民主主義的な能力形成を進めることが必要であると考える。言うまでもなく諸外国の取り組みを直接、日本に持ち込むことには慎重にならなければならない。しかし、諸外国の取り組みにヒントを得て、そのエッセンスを日本へ向けて発した提言である。政府・文部科学省、各教育委員会、各学校がこれからの学校運営や主権者教育の取り組みを考える手がかりとして受け止めていただき、我々の提言を吟味しつつ、それぞれの立場で実現に向けて取り組みを進めていくことを期待して提言とする。

研究成果の全体については、荒井文昭・大津尚志・古田雄一・宮下与兵衛・柳澤良明『世界に学ぶ主権者教育の最前線 生徒参加が拓く民主主義の学び 』(学事出版、2023年)に記載してあります。

5 . 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計45件(うち査読付論文 3件/うち国際共著 0件/うちオープンアクセス 8件)

1.著者名 柳澤良明	4.巻 5
2.論文標題 ドイツにおける民主主義教育の現状と課題	5 . 発行年 2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
香川大学教育学部研究報告 第5号	9-20
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名 柳澤良明	4 . 巻 6
2 . 論文標題	5 . 発行年
ドイツ民主主義教育における生徒参加の類型化に関する研究	2022年
3.雑誌名	6 . 最初と最後の頁
香川大学教育学部研究報告 第6号	1-13
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 527	
1.著者名 古田雄一	第35巻第3号
2.論文標題 生徒参加による対話的な校則見直しの市民性教育効果と課題ー安田女子中学高等学校「ルールメイキング プロジェクト」の事例からー	5 . 発行年 2022年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
国際研究論叢	97-116
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
4 ###	4 3/1
1.著者名	4.巻
古田雄一	63
2.論文標題	5 . 発行年
教育経営における「生徒の声」の意義と課題ー近年の国際的動向の検討と考察をもとにー	2021年
3.雑誌名 日本教育経営学会紀要 第63号	6.最初と最後の頁 19-34
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著

1.著者名	4.巻
大津尚志	第51巻第10号
2.論文標題	5.発行年
校則を考える~歴史をさかのぼる、今後の課題	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
月刊生徒指導	14-18
月刊 主使拍导 	14-16
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4.巻
大津尚志	33
2.論文標題	5.発行年
中学・高校における「校則」	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
フランス教育学会紀要 第33号	153-156
	1.5
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	木柱の左無
	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	当你不有
3 フンテア これではなv (人は3 フンテア これが 四年	_
1.著者名	4.巻
大津尚志	90
八件問心	
2. 論文標題	5.発行年
神戸市の標準服・校則を考える	2021年
117 18 17 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
兵庫民研だより 第90号	2-4
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
物製舗又のDOI(デンタルタフジェクトiakが于) なし	
' 4. ∪	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
大津尚志	7
2 . 論文標題	5.発行年
- 校則裁判(大阪府立高校黒染事件地裁判決、令和3年2月16日)に関する一考察	2022年
12以はたり、ハバスパリエ回北赤木尹けどはながい人、マガンサ4月10日ノに因する「伝統	2022-
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
武庫川女子大学学校教育センター紀要 第7号	48-58
EALLINES AND THE STATE OF THE S	.5 55
相 # bb	**************************************
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	 国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
つ ファップころ こめらい 人につ フファブ 巨大	

1.著者名	4 . 巻
荒井文昭	54巻8号
2 . 論文標題	5.発行年
世界の実践に学ぶ生徒参加の主権者教育 ニュージーランド (1)	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
月刊 高校教育 8月号	82-83
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
なし	無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
3 プラップ これではない、人は3 プラップ これが 回来	
1 . 著者名	4 . 巻
荒井文昭	54巻9号
2 . 論文標題	5.発行年
世界の実践に学ぶ生徒参加の主権者教育 ニュージーランド(2)	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
月刊 高校教育 9月号	84-85
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
荒井文昭	54巻10号
2 . 論文標題	5.発行年
世界の実践に学ぶ生徒参加の主権者教育 ニュージーランド(3)	2021年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
月刊 高校教育 10月号	88-89
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	
なし	無無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
荒井文昭	54 <u>岁</u> 11号
2 . 論文標題	5 . 発行年
世界の実践に学ぶ生徒参加の主権者教育 ニュージーランド(4)	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
月刊 高校教育 11月号	76-77
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-

1.著者名 荒井文昭	4.巻 54巻12号
元 开文帕	5+공12·5
2.論文標題	5 . 発行年
世界の実践に学ぶ生徒参加の主権者教育 ニュージーランド(5)	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
月刊 高校教育	84-85
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	4 . 巻
宮下与兵衛	242
0 +0-1-E02	5 78/- 17
2.論文標題 校則づくりに参加する世界の生徒たち	5 . 発行年 2021年
1スポップトンに参加するに20年に20	20214
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
クレスコ	28-31
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国际六 有
	,
1 . 著者名	4.巻
宮下与兵衛	55巻第1号
2 . 論文標題	5.発行年
世界の実践に学ぶ生徒参加の主権者教育 日本の生徒参加の主権者教育	2022年
2 hh÷+ 47	C 目知1日後の古
3.雑誌名 月刊 高校教育	6 . 最初と最後の頁 82-83
73 13 19/12/47	02-03
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無無
14 U	***
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4.巻
- 1 ・	4 . 合 55巻第2号
2.論文標題	5 . 発行年
世界の実践に学ぶ生徒参加の主権者教育 日本の生徒参加の主権者教育	2022年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
月刊 高校教育	80-81
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
なし	無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
オーフンアプセスではない、又はオープファグセスが困難	-

1.著者名	4.巻
宮下与兵衛	55巻第3号
2.論文標題	5 . 発行年
世界の実践に学ぶ生徒参加の主権者教育 日本の生徒参加の主権者教育	2022年
	2022 1
	6.最初と最後の頁
月刊高校教育	82-83
	+ + - + m
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	<u> </u>
1.著者名	4 . 巻
	53巻4号
古下司共領	30245
2	F 367-7-
2. 論文標題	5.発行年
世界の実践に学ぶ生徒参加の主権者教育(1)意識の高い主権者を育てるために	2020年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
月刊高校教育	110-111
7515 1-3 1-3 1-3 1-3	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4.巻
ウエトに体	
1 名下与共倒	8
宮下与兵衛	8
2 . 論文標題	5.発行年
2.論文標題 意見表明する世界の子どもたち	5.発行年 2020年
2.論文標題 意見表明する世界の子どもたち 3.雑誌名	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
2.論文標題 意見表明する世界の子どもたち	5.発行年 2020年
2.論文標題 意見表明する世界の子どもたち 3.雑誌名	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
2 . 論文標題 意見表明する世界の子どもたち 3 . 雑誌名 長野の子ども白書2020	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 2-3
2.論文標題 意見表明する世界の子どもたち 3.雑誌名	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
2 . 論文標題 意見表明する世界の子どもたち 3 . 雑誌名 長野の子ども白書2020	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 2-3
2 . 論文標題 意見表明する世界の子どもたち 3 . 雑誌名 長野の子ども白書2020 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 2-3 査読の有無
2 . 論文標題 意見表明する世界の子どもたち 3 . 雑誌名 長野の子ども白書2020 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 2-3 査読の有無 無
2 . 論文標題 意見表明する世界の子どもたち 3 . 雑誌名 長野の子ども白書2020 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 2-3 査読の有無
2 . 論文標題 意見表明する世界の子どもたち 3 . 雑誌名 長野の子ども白書2020 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 2-3 査読の有無 無
2. 論文標題 意見表明する世界の子どもたち 3. 雑誌名 長野の子ども白書2020 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 2-3 査読の有無 無 国際共著
2 . 論文標題 意見表明する世界の子どもたち 3 . 雑誌名 長野の子ども白書2020 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 2-3 査読の有無 無 国際共著
2. 論文標題 意見表明する世界の子どもたち 3. 雑誌名 長野の子ども白書2020 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 2-3 査読の有無 無 国際共著
2 . 論文標題 意見表明する世界の子どもたち 3 . 雑誌名 長野の子ども白書2020 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 大津尚志	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 2-3 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 53巻11号
2 . 論文標題 意見表明する世界の子どもたち 3 . 雑誌名 長野の子ども白書2020 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 2-3 査読の有無 無 国際共著
2 . 論文標題 意見表明する世界の子どもたち 3 . 雑誌名 長野の子ども白書2020 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 大津尚志 2 . 論文標題	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 2-3 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 53巻11号
2 . 論文標題 意見表明する世界の子どもたち 3 . 雑誌名 長野の子ども白書2020 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 大津尚志	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 2-3 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 53巻11号 5 . 発行年
2. 論文標題 意見表明する世界の子どもたち 3. 雑誌名 長野の子ども白書2020 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 大津尚志 2. 論文標題 世界の実践に学ぶ生徒参加の主権者教育(7)フランス 伝統ある生徒参加制度	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 2-3 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 53巻11号 5 . 発行年 2020年
2. 論文標題 意見表明する世界の子どもたち 3. 雑誌名 長野の子ども白書2020 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 大津尚志 2. 論文標題 世界の実践に学ぶ生徒参加の主権者教育(7)フランス 伝統ある生徒参加制度 3. 雑誌名	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 2-3 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 53巻11号 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
2. 論文標題 意見表明する世界の子どもたち 3. 雑誌名 長野の子ども白書2020 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 大津尚志 2. 論文標題 世界の実践に学ぶ生徒参加の主権者教育(7)フランス 伝統ある生徒参加制度	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 2-3 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 53巻11号 5 . 発行年 2020年
2. 論文標題 意見表明する世界の子どもたち 3. 雑誌名 長野の子ども白書2020 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 大津尚志 2. 論文標題 世界の実践に学ぶ生徒参加の主権者教育(7)フランス 伝統ある生徒参加制度 3. 雑誌名	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 2-3 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 53巻11号 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
2.論文標題 意見表明する世界の子どもたち 3.雑誌名 長野の子ども白書2020 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 大津尚志 2.論文標題 世界の実践に学ぶ生徒参加の主権者教育(7)フランス 伝統ある生徒参加制度 3.雑誌名 月刊 高校教育	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 2-3 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 53巻11号 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 78-79
2. 論文標題 意見表明する世界の子どもたち 3. 雑誌名 長野の子ども白書2020 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 大津尚志 2. 論文標題 世界の実践に学ぶ生徒参加の主権者教育(7)フランス 伝統ある生徒参加制度 3. 雑誌名 月刊 高校教育 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 2-3 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 53巻11号 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 78-79
2 . 論文標題 意見表明する世界の子どもたち 3 . 雑誌名 長野の子ども白書2020 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 大津尚志 2 . 論文標題 世界の実践に学ぶ生徒参加の主権者教育(7)フランス 伝統ある生徒参加制度 3 . 雑誌名 月刊 高校教育	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 2-3 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 53巻11号 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 78-79
2. 論文標題 意見表明する世界の子どもたち 3. 雑誌名 長野の子ども白書2020 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 大津尚志 2. 論文標題 世界の実践に学ぶ生徒参加の主権者教育(7)フランス 伝統ある生徒参加制度 3. 雑誌名 月刊 高校教育 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 2-3 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 53巻11号 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 78-79
2 . 論文標題 意見表明する世界の子どもたち 3 . 雑誌名 長野の子ども白書2020 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 大津尚志 2 . 論文標題 世界の実践に学ぶ生徒参加の主権者教育(7)フランス 伝統ある生徒参加制度 3 . 雑誌名 月刊 高校教育 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセス	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 2-3 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 53巻11号 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 78-79
2 . 論文標題 意見表明する世界の子どもたち 3 . 雑誌名 長野の子ども白書2020 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 大津尚志 2 . 論文標題 世界の実践に学ぶ生徒参加の主権者教育(7)フランス 伝統ある生徒参加制度 3 . 雑誌名 月刊 高校教育 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 2-3 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 53巻11号 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 78-79

1.著者名	4 . 巻
大津尚志	53巻12号
0. AA-JEEF	= 7V./= h=
2 . 論文標題	5 . 発行年
世界の実践に学ぶ生徒参加の主権者教育(8)フランス 伝統ある生徒参加制度	2020年
- 404 5	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
月刊 高校教育	74-75
15 data	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
大津尚志	53巻13号
2.論文標題	5.発行年
世界の実践に学ぶ生徒参加の主権者教育(9)フランス 高校生の自治	2020年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
月刊 高校教育	76-77
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
大津尚志	54巻1号
7(A-19)0	0.2.3
2 . 論文標題	5 . 発行年
世界の実践に学ぶ生徒参加の主権者教育(10)フランス 生徒参加制度	2021年
ビュアの大成に子が工作を別の工作自教育(10)フラフス 工作を別的図文	20214
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
月刊 高校教育	80-81
万刊 同权教育	00-01
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
19車は開文のDOT (ナンタルオンジェント級加丁) なし	重読の有無
' 4 U	ж
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	
カーノファン ヒA Cはない、 Xはカーノファン ヒAか凶無	-
4 ***	1 4 44
1. 著者名	4.巻
大津尚志	54巻2号
0 +0+1=0=	F 3V./= +-
2. 論文標題	5 . 発行年
世界の実践に学ぶ生徒参加の主権者教育(11)フランス 根幹的事項の決定権をもつ学校管理評議会	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
月刊 高校教育	76-77
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
4 1	無
なし	
オープンアクセス	国際共著
	国際共著

1.著者名	4 . 巻
大津尚志	107号
777-50	
2、 全人会 持馬 臣	r 28/2/=
2 . 論文標題	5.発行年
フランスの道徳・市民教育における価値・知識・コンピテンシー	2020年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
** ** * * *	
人間と教育	100-105
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無 無
	
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
柳澤良明	4号
2.論文標題	5 . 発行年
ドイツ民主主義教育における生徒参加の類型化に関する試案	2020年
「12以上工裁教目にのける工作を加い税主心に関する研究	2020
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
香川大学教育学部 研究報告	45-58
The state of the s	
AD STANLE A SOL (STANLE) LISTED A LIBERTY AND THE STANLE	**************************************
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
· · · · · · - · ·	
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4.巻
柳澤良明	54巻3号
17/7 (27)	0.803
2 *A-2-146 FE	F 36/-/-
2 . 論文標題	5.発行年
世界の実践に学ぶ生徒参加の主権者教育(12)民主主義的な行動能力の育成 ドイツ	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
月刊。高校教育	
月刊 高校教育	76-77
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
(a.U.	***
1 -2	
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	·
1 並2-4	1 A #
1 . 著者名	4 . 巻
荒井文昭	211号
	l l
2. 論文標題	5、発行年
2.論文標題	5 . 発行年
2.論文標題 主権者として学校運営に加わるニュージーランドの生徒たち	5.発行年 2021年
主権者として学校運営に加わるニュージーランドの生徒たち	2021年
	_
主権者として学校運営に加わるニュージーランドの生徒たち 3.雑誌名	2021年 6 . 最初と最後の頁
主権者として学校運営に加わるニュージーランドの生徒たち	2021年
主権者として学校運営に加わるニュージーランドの生徒たち 3.雑誌名	2021年 6 . 最初と最後の頁
主権者として学校運営に加わるニュージーランドの生徒たち 3.雑誌名 高校生活指導	2021年 6 . 最初と最後の頁 110-111
主権者として学校運営に加わるニュージーランドの生徒たち 3.雑誌名	2021年 6 . 最初と最後の頁
主権者として学校運営に加わるニュージーランドの生徒たち 3.雑誌名 高校生活指導 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2021年 6.最初と最後の頁 110-111 査読の有無
主権者として学校運営に加わるニュージーランドの生徒たち 3.雑誌名 高校生活指導	2021年 6 . 最初と最後の頁 110-111
主権者として学校運営に加わるニュージーランドの生徒たち 3.雑誌名 高校生活指導 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	2021年 6.最初と最後の頁 110-111 査読の有無 無
主権者として学校運営に加わるニュージーランドの生徒たち 3.雑誌名 高校生活指導 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2021年 6.最初と最後の頁 110-111 査読の有無

1 . 著名名 古田建		T
2 : 論文権語 アメリカにおける学校全体の市民性教育の評価と改善支援の試みー「イリノイ・デモクラシー・スクー 以上の参判から - 3 : 終結名 学校経済研究		
アメリカにおける学校全体の市民性教育の評価と改善支援の試みー「イリノイ・デモクラシー・スクー	古出礁一	45
アメリカにおける学校全体の市民性教育の評価と改善支援の試みー「イリノイ・デモクラシー・スクー	A AA DEET	= 7V.1= h=
ル」の専例から- 6 最初と最後の頁 43-56 学校経営研究 6 最初と最後の頁 43-56 月報請文のDOI (デジタルオブジェクト週別子) なし 国際共著		
3 . 雑誌名		2020年
# 2.		
据数論文の001 (デジタルオブジェクト語別子) をし		
なし 有 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 国際共著 1 著名名 宮下与兵衛 2 ・	学校経営研究	43-56
なし 有 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 国際共著 1 著名名 宮下与兵衛 2 ・		
なし 有 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 国際共著 1 著名名 宮下与兵衛 2 ・		
1 著名名 1 表名名 2 . 論文標題 2 . 記文標題 2 . 記文標題 2 . 記文標題 2 . 記文標題 3 . 経誌名 2 . 記文標題 3 . 経誌名 3 . 経誌名 3 . 経誌名 3 . 経誌名 3 . 正式 3		
1 著名名 2	なし	有
1 著名名 2		
1 ・著名名 宮下与兵衛 4 ・巻 34 2 ・論文標題 5 ・飛行年 日本の若者の主権者意識と主権者教育の課題 5 ・飛行年 2019年 2019年 2019年 3 ・舗話名 6 ・最初と最後の頁 37・51		国際共著
宮下与兵衛 34 2 . 論文標題 日本の若者の主権者意識と主権者教育の課題 5 . 発行年 2019年 3 . 雑誌名 宮下与兵衛 6 . 最初と最後の頁 37-51 1 . 著者名 宮下与兵衛 4 . 巻 7 2 . 論文標題 生徒の学校運営参加による主権者教育・民主主義教育 5 . 発行年 2019年 3 . 雑誌名 長野の子ども白書2019 6 . 最初と最後の頁 212-213 掲載論文の001 (デジタルオプジェクト識別子) なし 重読の有無 無 1 . 著者名 宮下与兵衛 4 . 巻 209 2 . 論文標題 高校生のデモとデモクラシー・スクールーアメリカ・シカゴのシティズンシップ教育 5 . 発行年 2020年 2 . 論文標題 高校生活指導 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 宮下与兵衛 6 . 最初と最後の頁 110-111 日数論文の001 (デジタルオプジェクト識別子) なし 重読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
宮下与兵衛 34 2 . 論文標題 日本の若者の主権者意識と主権者教育の課題 5 . 発行年 2019年 3 . 雑誌名 宮下与兵衛 6 . 最初と最後の頁 37-51 1 . 著者名 宮下与兵衛 4 . 巻 7 2 . 論文標題 生徒の学校運営参加による主権者教育・民主主義教育 5 . 発行年 2019年 3 . 雑誌名 長野の子ども白書2019 6 . 最初と最後の頁 212-213 掲載論文の001 (デジタルオプジェクト識別子) なし 重読の有無 無 1 . 著者名 宮下与兵衛 4 . 巻 209 2 . 論文標題 高校生のデモとデモクラシー・スクールーアメリカ・シカゴのシティズンシップ教育 5 . 発行年 2020年 2 . 論文標題 高校生活指導 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 宮下与兵衛 6 . 最初と最後の頁 110-111 日数論文の001 (デジタルオプジェクト識別子) なし 重読の有無 無 オープンアクセス 国際共著		
2 - 論文標題 日本の若の主権者意識と主権者教育の課題	1.著者名	4 . 巻
日本の若者の主権者意識と主権者教育の課題 3 . 雑誌名 字校教育研究 6 . 最初と最後の頁 37-51 掲載論文の00! (デジタルオブジェクト識別子) なし 1 . 著名名 宮下与兵衛 2 . 論文標題 生徒の学校運営参加による主権者教育・民主主義教育 3 . 雑誌名 長野の子ども白書2019 掲載論文の00! (デジタルオブジェクト識別子) なし オーブンアクセス オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 1 . 著名名 宮下与兵衛 4 . 巻 フィーブンアクセス おーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 1 . 著名名 宮下与兵衛 2 . 論文標題 系力・ブンアクセス カーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 1 . 著名名 宮下与兵衛 3 . 雑誌名 高校生のデモとデモクラシー・スクールーアメリカ・シカゴのシティズンシップ教育 3 . 雑誌名 高校生活指導 4 . 巻 209 2 . 論文標題 高校生のデモとデモクラシー・スクールーアメリカ・シカゴのシティズンシップ教育 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 高校生活指導 4 . 巻 209 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 高校生活指導 6 . 最初と最後の頁 110-111 掲載論文の00! (デジタルオブジェクト識別子) なし カーブンアクセス 国際共著	宮下与兵衛	34
日本の若者の主権者意識と主権者教育の課題 3 . 雑誌名 字校教育研究 6 . 最初と最後の頁 37-51 掲載論文の00! (デジタルオブジェクト識別子) なし 1 . 著名名 宮下与兵衛 2 . 論文標題 生徒の学校運営参加による主権者教育・民主主義教育 3 . 雑誌名 長野の子ども白書2019 掲載論文の00! (デジタルオブジェクト識別子) なし オーブンアクセス オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 1 . 著名名 宮下与兵衛 4 . 巻 フィーブンアクセス おーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 1 . 著名名 宮下与兵衛 2 . 論文標題 系力・ブンアクセス カーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 1 . 著名名 宮下与兵衛 3 . 雑誌名 高校生のデモとデモクラシー・スクールーアメリカ・シカゴのシティズンシップ教育 3 . 雑誌名 高校生活指導 4 . 巻 209 2 . 論文標題 高校生のデモとデモクラシー・スクールーアメリカ・シカゴのシティズンシップ教育 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 高校生活指導 4 . 巻 209 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 高校生活指導 6 . 最初と最後の頁 110-111 掲載論文の00! (デジタルオブジェクト識別子) なし カーブンアクセス 国際共著		
日本の若者の主権者意識と主権者教育の課題 3 . 雑誌名 字校教育研究 6 . 最初と最後の頁 37-51 掲載論文の001(デジタルオブジェクト識別子) なし 1 . 著名名 宮下与兵衛 2 . 論文標題 生徒の学校運営参加による主権者教育・民主主義教育 3 . 雑誌名 長野の子ども白書2019 掲載論文の001(デジタルオブジェクト識別子) なし オーブンアクセス オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 1 . 著名名 宮下与兵衛 4 . 巻 フ12-213 超談のの001(デジタルオブジェクト識別子) なし オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 1 . 著名名 宮下与兵衛 2 . 論文標題 点が標題 点が標題 高校生のデモとデモクラシー・スクールーアメリカ・シカゴのシティズンシップ教育 3 . 雑誌名 高校生活指導 4 . 巻 209 200年 3 . 雑誌名 高校生活指導 6 . 最初と最後の頁 110-111 掲載論文の001(デジタルオブジェクト識別子) なし カーブンアクセス オーブンアクセス 国際共著 4 . 巻 209 200年 3 . 雑誌名 高校生活指導 6 . 最初と最後の頁 110-111 掲載論文の001(デジタルオブジェクト識別子) なし オーブンアクセス	2 . 論文標題	5 . 発行年
3 ・ 対	日本の若者の主権者意識と主権者教育の課題	
学校教育研究 37-51 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし 宣誘の有無無無 オープンアクセス 国際共著・ 1. 著者名 宮下与兵衛 4. 巻 7 2. 論文標題 生徒の学校運営参加による主権者教育・民主主義教育 5. 発行年2019年 3. 雑誌名 長野の子ども白書2019 6. 最初と最後の頁212-213 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし 宣読の有無無 オープンアクセス 国際共著・ 1. 著者名 宮下与兵衛 4. 巻 209 2. 論文標題高校生のデモとデモクラシー・スクールーアメリカ・シカゴのシティズンシップ教育 5. 発行年2020年 3. 雑誌名高校生活指導 6. 最初と最後の頁110-111 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無無無 オープンアクセス 国際共著		
学校教育研究 37-51 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし 宣誘の有無無無 オープンアクセス 国際共著・ 1. 著者名 宮下与兵衛 4. 巻 7 2. 論文標題 生徒の学校運営参加による主権者教育・民主主義教育 5. 発行年2019年 3. 雑誌名 長野の子ども白書2019 6. 最初と最後の頁212-213 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし 宣読の有無無 オープンアクセス 国際共著・ 1. 著者名 宮下与兵衛 4. 巻 209 2. 論文標題高校生のデモとデモクラシー・スクールーアメリカ・シカゴのシティズンシップ教育 5. 発行年2020年 3. 雑誌名高校生活指導 6. 最初と最後の頁110-111 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無無無 オープンアクセス 国際共著	3.雑誌名	6.最初と最後の頁
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)		
# オープンアクセス	, investigation	0. 0.
# オープンアクセス		
# オープンアクセス	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 著者名 宮下与兵衛 2 論文標題 生徒の学校運営参加による主権者教育・民主主義教育 3 雑誌名 長野の子ども白書2019 清戦論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 なし オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 著者名 宮下与兵衛 2 論文標題 高校生のデモとデモクラシー・スクールーアメリカ・シカゴのシティズンシップ教育 3 雑誌名 高校生活指導 特戦論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 5 . 発行年 2020年 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 110-1111 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 5 . 発行年 2020年 7 本 2020年		
オープンアクセスとしている(また、その予定である) - 1. 著者名 宮下与兵衛 4. 巻 7 2. 論文標題 生徒の学校運営参加による主権者教育・民主主義教育 5. 発行年 2019年 3. 雑誌名 長野の子ども白書2019 6. 最初と最後の頁 212-213 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 面際共著 1. 著者名 宮下与兵衛 4. 巻 209 2. 論文標題 高校生のデモとデモクラシー・スクールーアメリカ・シカゴのシティズンシップ教育 5. 発行年 2020年 3. 雑誌名 高校生活指導 6. 最初と最後の頁 110-111 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 なし オープンアクセス 国際共著		,
オープンアクセスとしている(また、その予定である) - 1. 著者名 宮下与兵衛 4. 巻 7 2. 論文標題 生徒の学校運営参加による主権者教育・民主主義教育 5. 発行年 2019年 3. 雑誌名 長野の子ども白書2019 6. 最初と最後の頁 212-213 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 面際共著 1. 著者名 宮下与兵衛 4. 巻 209 2. 論文標題 高校生のデモとデモクラシー・スクールーアメリカ・シカゴのシティズンシップ教育 5. 発行年 2020年 3. 雑誌名 高校生活指導 6. 最初と最後の頁 110-111 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 なし オープンアクセス 国際共著	オープンアクセス	国際共著
1 . 著者名 宮下与兵衛 4 . 巻 7 2 . 論文標題 生徒の学校運営参加による主権者教育・民主主義教育 5 . 発行年 2019年 3 . 雑誌名 長野の子ども白書2019 6 . 最初と最後の頁 212-213 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 重読の有無 無 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 養 209 2 . 論文標題 高校生のデモとデモクラシー・スクールーアメリカ・シカゴのシティズンシップ教育 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 高校生活指導 6 . 最初と最後の頁 110-111 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著		-
空下与兵衛	3 777 727/20 (8/2, 6/3)/2 (8/3)	
空下与兵衛	1 茎老夕	1 /
2 . 論文標題 生徒の学校運営参加による主権者教育・民主主義教育 5 . 発行年 2019年 3 . 雑誌名 長野の子ども白書2019 6 . 最初と最後の頁 212-213 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 重読の有無 無 オーブンアクセス オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 国際共著 209 1 . 著者名 宮下与兵衛 4 . 巻 209 2 . 論文標題 高校生活指導 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 高校生活指導 6 . 最初と最後の頁 110-111 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オーブンアクセス 国際共著		_
生徒の学校運営参加による主権者教育・民主主義教育2019年3 . 雑誌名 長野の子ども白書20196 . 最初と最後の頁 212-213掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 無オープンアクセス 富下与兵衛4 . 巻 2092 . 論文標題 高校生のデモとデモクラシー・スクールーアメリカ・シカゴのシティズンシップ教育5 . 発行年 2020年3 . 雑誌名 高校生活指導6 . 最初と最後の頁 110-111掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 無オープンアクセス国際共著	白トコ共制	,
生徒の学校運営参加による主権者教育・民主主義教育2019年3 . 雑誌名 長野の子ども白書20196 . 最初と最後の頁 212-213掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 無オープンアクセス 富下与兵衛4 . 巻 2092 . 論文標題 高校生のデモとデモクラシー・スクールーアメリカ・シカゴのシティズンシップ教育5 . 発行年 2020年3 . 雑誌名 高校生活指導6 . 最初と最後の頁 110-111掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 無オープンアクセス国際共著	2 经分摊的	5
3 . 維誌名 長野の子ども白書2019		1 - 1,- 1
長野の子ども白書2019 212-213 212-213	主体の子仅建昌参加による工作自叙目・氏工工教教目	20194
長野の子ども白書2019 212-213 212-213	2 사람보선	6 早知と早後の百
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし		
# 日際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 日際共著 - 1 . 著者名 宮下与兵衛 4 . 巻 209 2 . 論文標題 高校生のデモとデモクラシー・スクールーアメリカ・シカゴのシティズンシップ教育 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 高校生活指導 6 . 最初と最後の頁 110-111	大野の丁Cも口音2019	212-213
# 日際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 日際共著 - 1 . 著者名 宮下与兵衛 4 . 巻 209 2 . 論文標題 高校生のデモとデモクラシー・スクールーアメリカ・シカゴのシティズンシップ教育 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 高校生活指導 6 . 最初と最後の頁 110-111		
# 日際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 日際共著 - 1 . 著者名 宮下与兵衛 4 . 巻 209 2 . 論文標題 高校生のデモとデモクラシー・スクールーアメリカ・シカゴのシティズンシップ教育 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 高校生活指導 6 . 最初と最後の頁 110-111	掲載絵文のDOL(デジタルオブジェクト辨別ス)	本語の右無
オープンアクセス 国際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著者名 宮下与兵衛 4 . 巻 209		
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著者名 宮下与兵衛 4 . 巻 209 2 . 論文標題 高校生のデモとデモクラシー・スクールーアメリカ・シカゴのシティズンシップ教育 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 高校生活指導 6 . 最初と最後の頁 110-111 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	40	
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著者名 宮下与兵衛 4 . 巻 209 2 . 論文標題 高校生のデモとデモクラシー・スクールーアメリカ・シカゴのシティズンシップ教育 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 高校生活指導 6 . 最初と最後の頁 110-111 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	+ - 1\1.7/147	
1 . 著者名 宮下与兵衛 4 . 巻 209 2 . 論文標題 高校生のデモとデモクラシー・スクールーアメリカ・シカゴのシティズンシップ教育 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 高校生活指導 6 . 最初と最後の頁 110-111 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著		国际共者
宮下与兵衛2092.論文標題 高校生のデモとデモクラシー・スクールーアメリカ・シカゴのシティズンシップ教育5.発行年 2020年3.雑誌名 高校生活指導6.最初と最後の頁 110-111掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 無オープンアクセス国際共著	オーノンアクセスではない、又はオーノンアクセスが困難	-
宮下与兵衛2092.論文標題 高校生のデモとデモクラシー・スクールーアメリカ・シカゴのシティズンシップ教育5.発行年 2020年3.雑誌名 高校生活指導6.最初と最後の頁 110-111掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 無オープンアクセス国際共著		T
2.論文標題 5.発行年 高校生のデモとデモクラシー・スクールーアメリカ・シカゴのシティズンシップ教育 6.最初と最後の頁 3.雑誌名 6.最初と最後の頁 高校生活指導 110-111 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 なし 無 オープンアクセス 国際共著		
高校生のデモとデモクラシー・スクールーアメリカ・シカゴのシティズンシップ教育 2020年 3.雑誌名 高校生活指導 6.最初と最後の頁 110-111 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	宮下与兵衛	209
高校生のデモとデモクラシー・スクールーアメリカ・シカゴのシティズンシップ教育 2020年 3.雑誌名 高校生活指導 6.最初と最後の頁 110-111 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著		
3.雑誌名 6.最初と最後の頁 高校生活指導 110-111 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 なし 無 オープンアクセス 国際共著		
高校生活指導 110-111 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 なし 無 オープンアクセス 国際共著	高校生のデモとデモクラシー・スクールーアメリカ・シカゴのシティズンシップ教育	2020年
高校生活指導 110-111 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 なし 無 オープンアクセス 国際共著		
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)		6.最初と最後の頁
# また	高校生活指導	110-111
# また		
# また		
オープンアクセス 国際共著	掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
	なし	無
		F 7/7 ++ ++
	オープンアクセス	国际共者

1.著者名	4 . 巻
大津尚志	15
V(T-1316)	
	F 38/- F
2.論文標題	5.発行年
高校の「校則」に関する一考察	2020年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
教育学研究論集(武庫川女子大学)	36-44
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
<i>A</i> 0	////
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1 . 著者名	4 . 巻
柳澤良明	2
2.論文標題	5 . 発行年
ドイツにおける民主主義的な学校文化形成の取り組み	2020年
1 1 ノに切りる氏工工裁別は子仪人心が成り取り組み	2020 *+
1811 6	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
香川大学教育学部研究報告	69-82
	* * * * * *
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
荒井文昭	882
76724	332
0 *A-LIE 0E	5 3V/= F
2.論文標題	5.発行年
学習権者を主権者としてとらえ返す	2019年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
教育	39-46
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
' a U	***
	C Dhy 11 ++
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	4 . 巻
1 英字夕	
1 . 著者名	
1.著者名 古田雄一	4 · 글 33-1
古田雄一	33-1
古田雄一 2.論文標題	33-1 5 . 発行年
古田雄一 2 . 論文標題 米国イリノイ州シカゴ学区の市民性教育改革の方法と特質ー格差是正に向けた学校全体での市民性教育実	33-1
古田雄一 2 . 論文標題 米国イリノイ州シカゴ学区の市民性教育改革の方法と特質-格差是正に向けた学校全体での市民性教育実践の先駆的事例-	33-1 5 . 発行年 2019年
古田雄一 2 . 論文標題 米国イリノイ州シカゴ学区の市民性教育改革の方法と特質-格差是正に向けた学校全体での市民性教育実践の先駆的事例- 3 . 雑誌名	33-1 5 . 発行年
古田雄一 2 . 論文標題 米国イリノイ州シカゴ学区の市民性教育改革の方法と特質-格差是正に向けた学校全体での市民性教育実践の先駆的事例- 3 . 雑誌名	33-1 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
古田雄一 2 . 論文標題 米国イリノイ州シカゴ学区の市民性教育改革の方法と特質-格差是正に向けた学校全体での市民性教育実践の先駆的事例-	33-1 5 . 発行年 2019年
古田雄一 2 . 論文標題 米国イリノイ州シカゴ学区の市民性教育改革の方法と特質-格差是正に向けた学校全体での市民性教育実践の先駆的事例- 3 . 雑誌名	33-1 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
古田雄一 2 . 論文標題 米国イリノイ州シカゴ学区の市民性教育改革の方法と特質-格差是正に向けた学校全体での市民性教育実践の先駆的事例- 3 . 雑誌名 国際研究論叢	33-1 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 69-84
古田雄一 2 . 論文標題 米国イリノイ州シカゴ学区の市民性教育改革の方法と特質-格差是正に向けた学校全体での市民性教育実践の先駆的事例- 3 . 雑誌名	33-1 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 69-84 査読の有無
古田雄一 2 . 論文標題 米国イリノイ州シカゴ学区の市民性教育改革の方法と特質-格差是正に向けた学校全体での市民性教育実践の先駆的事例- 3 . 雑誌名 国際研究論叢	33-1 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 69-84
古田雄一 2 . 論文標題 米国イリノイ州シカゴ学区の市民性教育改革の方法と特質-格差是正に向けた学校全体での市民性教育実践の先駆的事例- 3 . 雑誌名 国際研究論叢 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	33-1 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 69-84 査読の有無
古田雄一 2 . 論文標題 米国イリノイ州シカゴ学区の市民性教育改革の方法と特質-格差是正に向けた学校全体での市民性教育実践の先駆的事例- 3 . 雑誌名 国際研究論叢 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	33-1 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 69-84 査読の有無
古田雄一 2 . 論文標題 米国イリノイ州シカゴ学区の市民性教育改革の方法と特質-格差是正に向けた学校全体での市民性教育実践の先駆的事例- 3 . 雑誌名 国際研究論叢 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	33-1 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 69-84
古田雄一 2 . 論文標題 米国イリノイ州シカゴ学区の市民性教育改革の方法と特質-格差是正に向けた学校全体での市民性教育実践の先駆的事例- 3 . 雑誌名 国際研究論叢 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	33-1 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 69-84 査読の有無

1 . 著者名 古田雄一 4 . 巻 33-3 2 . 論文標題 アメリカ大都市学区における市民性教育改革の展開方略ーイリノイ州シカゴ学区の事例を手掛かりに一 3 . 雑誌名 国際研究論叢 5 . 発行年 2020年 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著 オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 宮下与兵衛 4 . 巻 74 2 . 論文標題 青年を主権者として成長させるために 5 . 発行年 2018年
古田雄一33-32.論文標題 アメリカ大都市学区における市民性教育改革の展開方略ーイリノイ州シカゴ学区の事例を手掛かりに一5.発行年 2020年3.雑誌名 国際研究論叢6.最初と最後の頁 111-127掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 無オープンアクセス国際共著 イープンアクセスとしている(また、その予定である)1.著者名 宮下与兵衛4.巻 742.論文標題5.発行年
2.論文標題 アメリカ大都市学区における市民性教育改革の展開方略ーイリノイ州シカゴ学区の事例を手掛かりにー 5.発行年 2020年 3.雑誌名 国際研究論叢 6.最初と最後の頁 111-127 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著 オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 宮下与兵衛 4.巻 74 2.論文標題 5.発行年
アメリカ大都市学区における市民性教育改革の展開方略-イリノイ州シカゴ学区の事例を手掛かりに- 2020年 3.雑誌名 国際研究論叢 6.最初と最後の頁 111-127 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無 無 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 国際共著 - 1.著者名 宮下与兵衛 4.巻 74 2.論文標題 5.発行年
アメリカ大都市学区における市民性教育改革の展開方略-イリノイ州シカゴ学区の事例を手掛かりに- 2020年 3.雑誌名 国際研究論叢 6.最初と最後の頁 111-127 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 国際共著 - 1.著者名 宮下与兵衛 4.巻 74 2.論文標題 5.発行年
アメリカ大都市学区における市民性教育改革の展開方略-イリノイ州シカゴ学区の事例を手掛かりに- 2020年 3.雑誌名 国際研究論叢 6.最初と最後の頁 111-127 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 国際共著 - 1.著者名 宮下与兵衛 4.巻 74 2.論文標題 5.発行年
3.雑誌名 6.最初と最後の頁 担職論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 なし 無 オープンアクセス 国際共著 オープンアクセスとしている(また、その予定である) - 1.著者名 4.巻 宮下与兵衛 5.発行年
国際研究論叢111-127掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 無オープンアクセス国際共著 オープンアクセスとしている(また、その予定である)1 . 著者名 宮下与兵衛4 . 巻 742 . 論文標題5 . 発行年
国際研究論叢111-127掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 無オープンアクセス国際共著 オープンアクセスとしている(また、その予定である)1 . 著者名 宮下与兵衛4 . 巻 742 . 論文標題5 . 発行年
国際研究論叢111-127掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 無オープンアクセス国際共著 オープンアクセスとしている(また、その予定である)1 . 著者名 宮下与兵衛4 . 巻 742 . 論文標題5 . 発行年
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)
なし無オープンアクセス国際共著1 . 著者名 宮下与兵衛4 . 巻 742 . 論文標題5 . 発行年
なし無オープンアクセス国際共著1 . 著者名 宮下与兵衛4 . 巻 742 . 論文標題5 . 発行年
なし無オープンアクセス国際共著1 . 著者名 宮下与兵衛4 . 巻 742 . 論文標題5 . 発行年
オープンアクセス 国際共著 コープンアクセスとしている(また、その予定である) - 1 . 著者名 宮下与兵衛 2 . 論文標題 5 . 発行年
オープンアクセス 国際共著 コープンアクセスとしている(また、その予定である) - 1 . 著者名 宮下与兵衛 2 . 論文標題 5 . 発行年
オープンアクセスとしている(また、その予定である) - 1 . 著者名 宮下与兵衛 4 . 巻 74 2 . 論文標題 5 . 発行年
オープンアクセスとしている(また、その予定である) - 1 . 著者名 宮下与兵衛 4 . 巻 74 2 . 論文標題 5 . 発行年
1.著者名 4.巻 宮下与兵衛 74 2.論文標題 5.発行年
1 . 著者名 4 . 巻 宮下与兵衛 74 2 . 論文標題 5 . 発行年
宮下与兵衛 74 2.論文標題 5.発行年
宮下与兵衛 74 2.論文標題 5.発行年
宮下与兵衛 74 2.論文標題 5.発行年
2 . 論文標題 5 . 発行年
悪任を主権者として成長させるために
月十七工作日こして以及じじるために 1 2010年
2 1444
3.雑誌名 6.最初と最後の頁
働くもののいのちと健康 18-22
10 44
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無
なし 無
オープンアクセス 国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難
<u> </u>
1 . 著者名 4 . 巻
宮下与兵衛
2 . 論文標題
子どもの権利条約と主権者教育-子どもたちに民主主義と権利の教育を 2018年
」ともの権利示約と工権有教育一」ともたちに民工工義と権利の教育を 2010年
3.雑誌名 6.最初と最後の頁
長野の子ども白書 2018 36-37
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無
なし
オープンアクセス 国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 -
つ フファフ これではない、人はつ フファフ これが 四年 -
1.著者名 4.巻
宮下与兵衛
2 . 論文標題 5 . 発行年
権利と民主主義を学び生きる学校へ 2019年
2 WHA
3.雑誌名 6.最初と最後の頁
教育 27-32
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 なし 無
なし 無

1.著者名	4 . 巻
宮下与兵衛	550
	000
2 . 論文標題	5 . 発行年
想像力・共感力ある当事者性を育む職員教育	2018年
ぶ家//・ 六窓// のも3 事合注で自む職員教育	20104
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
民医連医療	18-22
C. C. E. C. I.	10-22
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
· · ·	
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
大津尚志	16
2.論文標題	5.発行年
フランスのシティズンシップ教育	2018年
그 사람들 수건	6 見知と見後の五
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
J-CEF NEWS	5-6
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
4. O	***
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
カープラティとなるが、大はカープラティとカが四粒	
1.著者名	4 . 巻
	32-3
古田雄一	32-3
2.論文標題	5 . 発行年
子どもの市民性形成への学校風土の影響に関する研究動向 政治的社会化を基盤としたアメリカでの実証	2019年
的研究を中心に	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
国際研究論叢	99-112
	99-112
	99-112
国際研究論叢	
国際研究論叢 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
国際研究論叢	
国際研究論叢 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
国際研究論叢 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし	査読の有無無無
国際研究論叢 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	査読の有無
国際研究論叢 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし	査読の有無無無
国際研究論叢 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	査読の有無無無
国際研究論叢 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	査読の有無 無 国際共著
国際研究論叢 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	査読の有無無無
国際研究論叢 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	査読の有無 無 国際共著
国際研究論叢 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	査読の有無 無 国際共著 - 4.巻
国際研究論叢 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 荒井文昭	査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 54
国際研究論叢 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	査読の有無 無 国際共著 - 4.巻
国際研究論叢 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 荒井文昭 2 . 論文標題	査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 5 . 発行年
国際研究論叢 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 荒井文昭	査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 54
国際研究論叢 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 荒井文昭 2 . 論文標題 学習権保障における政治的中立性をめぐる課題	査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 5 . 発行年 2018年
国際研究論叢 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 荒井文昭 2 . 論文標題	査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 5 . 発行年
国際研究論叢 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 荒井文昭 2 . 論文標題 学習権保障における政治的中立性をめぐる課題 3 . 雑誌名	査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 54 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
国際研究論叢 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 荒井文昭 2 . 論文標題 学習権保障における政治的中立性をめぐる課題	査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 5 . 発行年 2018年
国際研究論叢 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 荒井文昭 2 . 論文標題 学習権保障における政治的中立性をめぐる課題 3 . 雑誌名	査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 54 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
国際研究論叢 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 荒井文昭 2 . 論文標題 学習権保障における政治的中立性をめぐる課題 3 . 雑誌名 社会教育学研究	査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 54 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 108-109
国際研究論叢 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 荒井文昭 2 . 論文標題 学習権保障における政治的中立性をめぐる課題 3 . 雑誌名 社会教育学研究	査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 54 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 108-109
国際研究論叢 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 荒井文昭 2 . 論文標題 学習権保障における政治的中立性をめぐる課題 3 . 雑誌名 社会教育学研究 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 54 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 108-109
国際研究論叢 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 荒井文昭 2 . 論文標題 学習権保障における政治的中立性をめぐる課題 3 . 雑誌名 社会教育学研究	査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 54 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 108-109
国際研究論叢 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 荒井文昭 2 . 論文標題 学習権保障における政治的中立性をめぐる課題 3 . 雑誌名 社会教育学研究 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 54 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 108-109
国際研究論叢 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 荒井文昭 2 . 論文標題 学習権保障における政治的中立性をめぐる課題 3 . 雑誌名 社会教育学研究 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 54 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 108-109 査読の有無
国際研究論叢 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 荒井文昭 2 . 論文標題 学習権保障における政治的中立性をめぐる課題 3 . 雑誌名 社会教育学研究 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 54 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 108-109

1.著者名	4 . 巻
	751
2.論文標題	5.発行年
主権者の学びと公共施設再編政策	2018年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
月刊社会教育	20-25
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
·	·

[学会発表]	計10件 (′ うち招待講演	3件 / うち国際学会	0件)

1 . 発表者名

柳澤良明

2 . 発表標題

ドイツ民主主義教育における生徒参加の類型化に関する研究

3 . 学会等名

日本教育経営学会 第61回大会

4.発表年 2021年

1.発表者名柳澤良明

2.発表標題

ドイツ民主主義教育の理念と実践

3 . 学会等名

フォーラム・ドイツの教育

4 . 発表年

2021年

1.発表者名 古田雄一

2 . 発表標題

アメリカ市民性教育の動向にみる多様性と包摂をめぐる課題ー多様性や分断は教室に何をもたらし、何を生み出すのかー

3 . 学会等名

全国社会科教育学会第70回全国研究大会(招待講演)

4.発表年

2021年

1. 発表者名
古田雄一
2.発表標題
2 : 光祝標題 社会的分断やデジタル化の時代における市民性教育の動向
社会的方面でナクタル化の時代にあける中氏性教育の動門
3.学会等名
日本教育学会第80回大会
1 1 200 2 200 200 200 200 200 200 200 20
4 . 発表年
2021年
1.発表者名
大津尚志
741139
2 . 発表標題
「校則裁判」に関する一考察
3.学会等名
日本教育法学会 第51回定期総会
· Tark
4.発表年
2021年
4. 75.74
1. 発表者名
柳澤良明
2.発表標題
ドイツにおける民主主義教育の現状と課題
I I > I CO I O EVILLE AND ONLY INCOME
3 . 学会等名
日本教育経営学会 第60回大会
4 . 発表年
2020年
1. 発表者名
古田雄一
ᇫᇫᆇᆂᄺᄧ
2.発表標題
アメリカの市民性教育の動向と事例からーイリノイ州シカゴ学区を手掛かりに一
3.学会等名
- 3・チス寺日 - 日本学習社会学会 第17回大会(招待講演)
ロヤナロはムナム カリロハム ()川内時 <i>は)</i>
4.発表年
2020年
•

1.発表者名 古田雄一	
2.発表標題 アメリカ・イリノイ州における認知評価を通じた市民性教育の改善支援の試みー「イリノイ・デモクラシー	- ・スクール」の事例分析
3.学会等名 日本教育経営学会 第59回大会	
4 . 発表年 2019年	
1.発表者名 古田雄一	
2. 発表標題 Education for Democracy and Citizenship in the United States:In a Time of Inequality and Social	Division
3.学会等名 日本教育学会 78回大会(招待講演)	
4.発表年 2019年	
1.発表者名 古田雄一	
2. 発表標題 アメリカにおける市民性教育の格差是正に向けた政策的支援の構造ーイリノイ州・シカゴ学区の事例から	
3.学会等名 日本教育行政学会第53回大会	
4. 発表年 2018年	
[図書] 計5件 1. 著者名	4.発行年
大津 尚志	2021年
2.出版社 晃洋書房	5.総ページ数 ¹⁴²
3.書名 校則を考える	

1.著者名 宮下与兵衛、大津尚志、柳澤良明、浦野東洋一、勝野正章、中田康彦、坪井由実、武井哲郎、小池由美 子、宮盛邦友、日永龍彦、横出加津彦、松林隆幸、原健、大岩岩夫	4 . 発行年 2021年
2 . 出版社 同時代社	5.総ページ数 309
3 . 書名 校則、授業を変える生徒たち 開かれた学校づくりの実践と研究	
1.著者名 古田 雄一	4 . 発行年 2021年
2.出版社 東信堂	5.総ページ数 312
3.書名 現代アメリカ貧困地域の市民性教育改革	
1.著者名 伊藤良高、冨江英俊、大津尚志、永野典嗣、富田晴生、橋本一雄、中川雅道、小針誠、白銀夏樹、東風安 生、大堂晃嗣、香崎智郁代、森一郎、降旗直子、宮崎由紀子、金子幸、苫野一徳、柴田賢一、立花有希、 桐原誠	4 . 発行年 2019年
伊藤良高、冨江英俊、大津尚志、永野典嗣、富田晴生、橋本一雄、中川雅道、小針誠、白銀夏樹、東風安 生、大堂晃嗣、香崎智郁代、森一郎、降旗直子、宮崎由紀子、金子幸、苫野一徳、柴田賢一、立花有希、	
伊藤良高、冨江英俊、大津尚志、永野典嗣、富田晴生、橋本一雄、中川雅道、小針誠、白銀夏樹、東風安生、大堂晃嗣、香崎智郁代、森一郎、降旗直子、宮崎由紀子、金子幸、苫野一徳、柴田賢一、立花有希、桐原誠 2.出版社	2019年 5 . 総ページ数
伊藤良高、冨江英俊、大津尚志、永野典嗣、富田晴生、橋本一雄、中川雅道、小針誠、白銀夏樹、東風安生、大堂晃嗣、香崎智郁代、森一郎、降旗直子、宮崎由紀子、金子幸、苫野一徳、柴田賢一、立花有希、桐原誠 2 . 出版社 晃洋書房 3 . 書名 改訂版 道徳教育のフロンティア 1 . 著者名 白石陽一、望月一技、吉田真一、早川恵子、酒田孝、溝口幾子、里見真知、遠藤大輝、森俊二、山下晃一、三木啓司、辻合悠、大津尚志	2019年 5.総ページ数 ¹⁴⁴ 4.発行年 2019年
伊藤良高、冨江英俊、大津尚志、永野典嗣、富田晴生、橋本一雄、中川雅道、小針誠、白銀夏樹、東風安生、大堂晃嗣、香崎智郁代、森一郎、降旗直子、宮崎由紀子、金子幸、苫野一徳、柴田賢一、立花有希、桐原誠 2 . 出版社 見洋書房 3 . 書名 改訂版 道徳教育のフロンティア 1 . 著者名 白石陽一、望月一技、吉田真一、早川恵子、酒田孝、溝口幾子、里見真知、遠藤大輝、森俊二、山下晃一、三木啓司、辻合悠、大津尚志 2 . 出版社 大学図書出版	2019年 5.総ページ数 ¹⁴⁴ 4.発行年
伊藤良高、冨江英俊、大津尚志、永野典嗣、富田晴生、橋本一雄、中川雅道、小針誠、白銀夏樹、東風安生、大堂晃嗣、香崎智郁代、森一郎、降旗直子、宮崎由紀子、金子幸、苫野一徳、柴田賢一、立花有希、桐原誠 2. 出版社 晃洋書房 3.書名 改訂版 道徳教育のフロンティア 1.著者名 白石陽一、望月一技、吉田真一、早川恵子、酒田孝、溝口幾子、里見真知、遠藤大輝、森俊二、山下晃一、三木啓司、辻合悠、大津尚志	2019年 5.総ページ数 144 4.発行年 2019年

〔産業財産権〕

〔その他〕

_

6 . 研究組織

氏名	. 0	. 饼光組織		
(FURUTA Yuichi)		(ローマ字氏名) (研究者番号)	(機関番号)	備考
(FURUTA Yuichi)		古田 雄一	筑波大学・人間系・助教	
荒井 文昭 東京都立大学・人文科学研究科・教授 研究分別者 (40244404) 柳澤 良明 香川大学・教育学部・教授 研究分別担者 (YANAGISAWA Yoshiaki) 古 (40263884) 大津 尚志 武庫川女子大学・学校教育センター・准教授 (OTU Takashi) (1000)	研究分担者			
荒井 文昭 東京都立大学・人文科学研究科・教授 研究分別 (40244404) (22604) 柳澤 良明 香川大学・教育学部・教授 研究分別 (YANAGISAWA Yoshiaki) 12者 (40263884) (16201) 大津 尚志 武庫川女子大学・学校教育センター・准教授 (OTU Takashi) (1000)		(20791958)	(12102)	
(ARAI Fumiaki) (ARAI Fumiaki) (40244404) (40244404) (7ANAGISAWA Yoshiaki) (YANAGISAWA Yoshiaki) (40263884) 大津 尚志 武庫川女子大学・学校教育センター・准教授 (0TU Takashi)	-			
(40244404) (22604) 柳澤 良明 香川大学・教育学部・教授 研究 分 (YANAGISAWA Yoshiaki)	1	元并 入哨	木亦即立八子:八人付子\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	
柳澤 良明 香川大学・教育学部・教授 「YANAGI SAWA Yoshiaki)	研究分担者	(ARAI Fumiaki)		
柳澤 良明 香川大学・教育学部・教授 「YANAGI SAWA Yoshiaki)		(40244404)	(22604)	
研究 分担者 (40263884) (16201) 大津 尚志 武庫川女子大学・学校教育センター・准教授 (0TU Takashi)		,	` '	
大津 尚志 武庫川女子大学・学校教育センター・准教授 研究分別担者 (OTU Takashi)			省川大子・教育子部・教技	
大津 尚志 武庫川女子大学・学校教育センター・准教授 研究 分別担者		(40263884)	(16201)	
研究分 分 担	-			
(40398722) (34517)	研究分担者		武庫川女子大字・字校教育センター・准教授	
		(40398722)	(34517)	

7.科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------